

## ミクロから見た エドガー・シャイン

### キャリアダイナミクスの再検討

11月10日(土) 9:30~14:00

ミクロから見たエドガー・シャイン~キャリア開発を支える人事施策

11月11日(日) 9:30~14:00

ミクロから見たエドガー・シャイン~対人関係から見たキャリア開発

会場: アットビジネスセンター東京駅八重洲通り

#### 講師

Edgar H. Schein (MIT Sloan School of Management, Professor Emeritus)

木村 琢磨 (法政大学 キャリアデザイン学部 准教授)

民間企業勤務の後、東京大学大学院博士課程修了。専門は組織行動論・人材マネジメント論。著書に『戦略的人的資源管理』(泉文堂)、『賃金制度改革の軌跡』(ミネルヴァ書房、共著)など。社内政治に着目した経営組織の研究で世界的な有力学術誌に論文を発表。法政大学の社会人対象大学院(経営学研究科キャリアデザイン専攻)でも教鞭を取っている。



尾川 丈一 (Process Consultation Inc. CEO)

慶應義塾大学大学院社会学研究科後期博士課程社会学専攻単位満了中退後、渡米し、Ed.Schein先生に師事。神戸大学経営学研究科後期博士課程マネジメント・システム専攻単位修得。専門は、「Interpersonal Dynamics」。著訳書に、『プロセス・コンサルテーション』(Edgar H. Schein 著 稲葉元吉・尾川丈一訳; 白桃書房)、『D E Cの興亡』(Edgar H. Schein 著 稲葉元吉・尾川丈一訳; 亀田ブックサービス)、『企業セラピー』(Edgar H. Schein & Joichi Ogawa 著 稲葉祐之・尾川丈一・木村琢磨訳; 白桃書房近刊)『企業文化』(Edgar H. Schein 著 金井壽宏・尾川丈一訳; 白桃書房)、他がある。



前回のワークショップでは、「マクロから見たエドガー・シャイン」と題して、組織文化やプロセス・コンサルテーションについてお伝えしました。今回は、「個人に焦点を当てたキャリア開発のモデル」をご紹介します。個人の側面からは、入社前の教育期間、入社後の組織社会化の過程、キャリア・アンカーの自覚的形成、中年の危機、退職、といった生涯発達ステージ(ライフ・サイクル)ごとに何をしたらよいのか、またその生涯発達ステージ(ライフ・サイクル)を企業における事業展開の方針や人事施策とにいかに関係させるか、といったマッチングとプランニングについて考えることとなります。

一方、企業の視点では、企業の人材育成と従業員のキャリア開発とをWin-Winの関係として形成できているかが重要な論点となります。教育プログラムやインセンティブなど、社員とのコミュニケーションとなる報酬体系(内的・外的)の設計をはじめ、キャリア開発への効果的な側面的支援について考えます。